

第 19 回教師 &
専門家のための

問題行動研修会

『問題行動を再認識する』

学校長様
諸機関・諸施設長様
教育相談・生徒指導ご担当様
養護教諭・スクールカウンセラー・心の教室相談員様

教師&専門家のための問題行動研修会について(お願い)

特定非営利活動法人教育研究所の研修会も今年で 19 年目を迎えます。昨年は全国から 502 名の参加者があり、大変好評をいただきました。今年も引続き、文部科学省・全国都道府県教育委員会連合会（全国都道府県教育長協議会・全国都道府県教育委員長協議会の連合会）の後援で【第 19 回教師&専門家のための問題行動研修会】を開催致します。

幼児教育、生徒指導、養護、相談室の先生だけでなく、子ども達に係わる全ての先生が参加出来るように配慮してあります。また、児童相談所の相談員、福祉関係、児童生徒の問題行動（不登校・暴力行為・いじめ・児童虐待・高校中退等）を抱えた児童生徒の自立支援にかかわる仕事をされている専門家を対象に行います。

講師の先生は実際に様々な問題行動を深く理解し、それぞれの専門分野で活躍されている我が国を代表する先生をお招きしております。

受講される皆様が問題行動などを取り巻く様々な子どもの行動を理解し、対応方法を多方面にわたって学び、その実践に生かして頂くことができれば幸に存じます。

是非、これらの問題に取り組んでいる先生にご参加頂きたい、ご回覧などのご配慮をお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 教育研究所理事長 牟田 武生

開催主旨

不登校児童・生徒数は教育機関を含め関連機関の対策や努力の結果、平成 14 年度から全国的に人数及び出現率に於いても減少に転じました。しかし、18 年度より増加に転じ予断を許さない状況にあります。高校生の不登校や中退者も同様です。最近では不登校児童生徒が長期間ひきこもり、20 歳を越え NEET になっていく、一つの要因になることも分かってきました。この問題は社会的ひきこもりを含め、様々な二次的問題を引き起こし、年齢層の広がりとともに様々な状態の人が存在し、多様な様相を示して来ています。

不登校は“学校を 30 日以上欠席している”という現象ですが、その中には軽度発達障害を含め、児童虐待・いじめ・暴力行為・高校中退・学習遅滞・友達や先生との人間関係・子ども自身心の問題・親子関係等、様々な問題が含まれています。不登校問題に対処する時、学校教育、心理、社会福祉、医学、保育、社会学等、広範囲の領域において様々な対応が必要となります。しかし、残念ながら、一領域の対応が中心なために必ずしも効果的ではありません。総合的かつ連携的な取り組みへの理解者及び援助者の育成が急務になってきております。

19 年目の今年には『問題行動を再認識する』をテーマに様々な角度から、受講者の皆様と一緒に考えていきます。また、今年には不登校という状態像の中でも、幼児期からの様々な問題行動・LD・ADHD・高機能自閉症の状態を示す、子どもへの対応のあり方を含めて、多くの専門家によってアプローチしていきます。また、より深くカウンセリングのスキルアップを図るために昨年度、大変好評だった国立女性教育会館でのワークショップセミナーも開催します。

幼児教育、生徒指導、養護、相談室の先生方だけでなく、子ども達に係わる全ての先生方が参加出来るように配慮してあります。また、児童相談所の相談員の方、児童館職員、福祉関係の方々など不登校・ひきこもりや軽度発達障害にかかわる領域で仕事されている方々を参加対象に行います。

講師の先生方は実際の不登校児童・生徒及び軽度発達障害等のそれぞれの専門分野で活躍する我が国を代表する先生方をお招きしております。

受講される皆様が不登校や LD・ADHD・高機能自閉症に関する理解と取り組み（対応）を様々な角度から学び、その実践に生かして頂くことができれば幸に存じます。

主 催 特定非営利活動法人 教育研究所
後 援 文部科学省・全国都道府県教育委員会連合会
教育新聞社
後援期間 平成 21 年 8 月 28 日(金)まで

開催要項

☆東京会場（全体講義）：国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟小ホール（東京都渋谷区代々木神園町3-1）

日時 平成21年8月24日（月）～8月28日（金）

受講費 5日受講 30,000円（学生15,000円） 4日受講 26,000円（学生14,000円） 3日受講 22,000円（学生12,000円）
2日受講 16,000円（学生10,000円） 1日受講 8,000円（学生8,000円）

定員 400名

☆埼玉会場（ワークショップ）：国立女性教育会館（埼玉県比企郡嵐山町菅谷728）

日時 平成21年7月30日（木）～7月31日（金）

受講費 宿泊付き（1泊）：23,000円（学生13,000円） 宿泊なし：18,000円（学生8,000円）

※2日間通しのワークショップとなるため、1日受講の設定はありません。

定員 90名（各講座30名）

※各会場とも定員になり次第締め切ります。学生の方は学生証コピーを同封またはFaxしてください。

※受講対象は教師及び教育関係者、指導主事、児童相談所相談員、精神保健福祉士、教育相談担当者（カウンセラー・セラピスト・臨床心理士・ケースワーカー・ソーシャルワーカー・社会福祉士・児童委員・医療関係者・学生も可）サポートステーション担当者、若者自立支援に係わる方等、問題行動にかかわる領域で研究をしている方。

申込方法

①パンフレット内の申込書に必要事項を記入のうえ、下記に郵送あるいはFaxで送り下さい。（確認の連絡は致しません）

【申込書 郵送先及びFax送付先】 〒233-0013 横浜市港南区丸山台2-26-20 NPO法人教育研究所
Tel. 045-848-3761(代) Fax. 045-848-3742 E-mail contact@kyoken.org

②申込書送付後、下記いずれかの方法で受講料を振込み下さい。入金が確認され次第、受講証・会場地図・領収書を送ります。

【受講料振込み先】 銀行振込 北陸銀行 宇奈月支店 普通 5014010
口座名義 特定非営利活動法人 教育研究所 トクヒ キョウイクケンキュウシヨ
郵便振替 00230-9-112182 特定非営利活動法人 教育研究所

申し込み受講のご注意

- ①申込書は楷書で記入して下さい。受講証等の送り先は夏休み中でも確実に受け取りのできる住所をお書き下さい。
- ②テキスト・資料などは参加受付時に各会場でお渡しいたします。
- ③天災、その他の事情等により、一部地域で交通機関の混乱等があっても、研修会が開催された場合は参加費の返金はできません。
- ④止むを得ない事情により、講師を変更する場合があります。
- ⑤東京会場での宿泊に関しては、オリンピックセンター（03-3469-2525 申込み受付専用）に直接予約して下さい。

東京会場 講座紹介&スケジュール

8月24日（月）～8月28日（金）

日	時間	講師&講座名	講座内容
八月二十四日（月）	10:00 ～ 10:50	【生徒指導上の課題について】 －問題行動の対策と予防－ 文部科学省初等中等教育局 児童生徒課 課長補佐 高橋正敏	今日の学校教育は様々な生徒指導上の課題を抱えている。いじめ、不登校、校内暴力などの問題行動に対して文部科学省がどのような施策を立て、どのように課題を克服して行こうとしているのか。この問題に対する取り組みを述べる。 『指導主事・全教員必修講座』
	11:00 ～ 11:50	【子ども達への支援、厚労省の取組】 －虐待防止と児童相談所の働き－ 厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課 児童福祉専門官 坂井隆之	子ども達に児童虐待を含め様々な問題が降りかかっている。尊い命を守るために、子どもの安全確保を最優先にした対応を図る必要がある。関連機関の連携を強化することが緊急の課題である。厚生労働省専門官から講義を受ける 『全教員・相談員必修講座』
	13:00 ～ 14:50	【知的遅れのない発達障害の理解と指導】 －これからの特別支援教育の課題－ 東京学芸大学教授 日本LD学会会長 上野一彦	この問題について我が国を代表する研究者から講義を受ける。発達障害をどのように理解し指導していくのか具体的に分かり易く解説する。また、特別支援教育のこれからの課題についても触れる。 『毎年大好評の講座・相談員・全教員必修講座』
	15:10 ～ 17:00	【特別支援教育と発達障害】 －理解と支援－ (独)国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育情報センター長 上席総括研究員 精神科医 渥美 義賢	軽度の発達障害について医学的なアプローチを試みる我が国を代表する研究者から最新の研究を聞く。最前線の研究を、「なるほど、そう考え、そうすればいいのか」と明日の教育指導へ具体的に活かすことができる講座。 『全教員・特別教育支援担当者・保育士必修講座』

八月二十五日(火)	10:00 ～ 11:50	【非行・学校の荒れ】 －非行問題や学校の荒れを具体的にどう防げば良いのか－ 埼玉県長瀬町立 長瀬中学校 校長 高田 忠一	非行問題や学校の荒れは様々な生徒指導の問題につながる。また、学校管理上重要な要素になる。非行や学校の荒れを防ぐためには具体的にどのように対応して行けば良いのか、経験豊富な現職校長から学ぶ。 『全教員必修講座』
	13:00 ～ 14:50	【危機社会の中の学校の安全性】 －子どもを守る危機対応と心のケアをいかに－ 武庫川女子大学 教授 上地 安昭	学校は社会の中で最も安全な場所ではなくてはならない。危機社会の中で学校の安全性をいかに守ることは同時に心のケアをどうするかの問題でもある。この道の第一人者の講師を招き講義を行なう。 『全教員必修講座』
	15:10 ～ 17:00	【市民性を育む積極的な生徒指導】 －規範意識を育てる教育と生徒指導－ 大阪樟蔭女子大学学長 大阪市立大学名誉教授 森田 洋司	規範意識と市民意識の欠落が今日問われている。生徒指導の根幹を成すこれらの哲学なくしては明日の生徒指導は見えてこない。他人への思いやりや優しさを育てることがいじめや様々な問題行動を防ぐ。我国を代表する社会学者から学ぶ。 『全教員・生徒指導主事・学校長必修講座』
	10:00 ～ 11:50	【保護者との面接の工夫】 －対応が難しい保護者との面接法を考える－ 早稲田大学 人間科学学術院教授 菅野 純	対応が難しい保護者が増えて来ている。保護者との面談に頭を痛めている先生は非常に多い。こころを掴むカウンセリングのプロの講師から具体的に学ぶ、すぐに、その技術は明日の面接に生かされるはずだ。 『大好評の講座、全教員必修講座』
八月二十六日(水)	13:00 ～ 14:50	【今を生きる子ども達、どこが問題なのか、対応方法は…】 －今を生きる子ども達の心理を理解する－ 東京福祉大学 教授 田上 不二夫	我国を代表する臨床心理学者の講師から今を生きる子ども達について語ってもらう。子ども達に対する視線やまなざしの温かさは教育の原点である。深い洞察力と教育に対する情熱は明日の力に必ずなれる。 『大好評の講座・全教員・相談員必修講座』
	15:10 ～ 17:00	【子どもの携帯電話への自治体の取組】 －プロジェクトK 野々市町の取組－ 石川県野々市町住民生活部広報情報課 課長補佐 榎谷泰裕	携帯電話を小中学生に持たせない取組を町全体で行い多大な成果を上げてきた。その取組は「教育白書」でも紹介されている。携帯電話やインターネットの負の側面は今日の生徒指導とも密接に結びついている。この機会に具体的な実践を学びたい。 『全教員必修講座』
	10:00 ～ 11:50	【つまづく若者たち】 －思春期臨床の現場から－ 北の丸クリニック所長 精神科医 (社)青少年健康センター常任理事 倉本 英彦	講師は不登校・ひきこもりを治療する代表的な精神科医。豊富な臨床事例を持つ、ひきこもりに対する理解は多くの若者にも共通することがあるので、教育と医療の連携を含む多くの示唆が得られる。 『全教員・相談員必修講座』
八月二十七日(木)	13:00 ～ 14:50	【発達障害と音楽療法について】 －こころを豊かにし、健やかに成長するために－ 明星大学 教授 星山 麻木	幼児や発達障害児に対して、長い間、音楽療法の取組を行い大きな成果を上げて来た講師をお招きして、理論のみでなく、その実際を聞く。明日の指導に大きなヒントが得られる。 『幼児教育担当者、発達障害指導者必修講座』
	15:10 ～ 17:00	【自立の困難を抱える若者の実態と支援：日本と海外】 －教育と社会の懸け橋をいかに繋ぐか－ 放送大学教養学部教授 宮本 みち子	若者自立支援の第一人者であり社会教育者である講師から、現在様々な問題を抱えている若者について講義を受ける。激動する社会の中で苦悩する彼らの実態を理解することは、明日の学校教育に必ず生かされる講義である。 『全教員必修講座』
八月二十八日(金)	10:00 ～ 11:50	【各種発達障害の理解と幼少時期の治療指導について】 －効果的な実践の方法が判明、具体的に紹介－ 小児医学、脳生理学、臨床研究協力研究者 代表 さいたま市教育相談センター 所長 金子 保	自閉症・発達障害・LD などの相談、指導に当たっている方への発達支援の方法を紹介。行動療法、感覚統合法などの実践研究から、全人格発達方法を研究、極めて効果的なことが分かり、約600事例の実践を経て、指導の方法を具体的に紹介する。 『発達障害の研究者・相談員・教師、発達障害の保護者必修』
	13:00 ～ 14:50	【不登校・ひきこもり・ニートにさせない教育】 －ひきこもりへさせない指導のあり方考える－ NPO 法人教育研究所理事長 牟田 武生	不登校が長期化し、ひきこもる若者たち、自己解決力だけでは、学校復帰や社会的自立は困難を極める。家庭訪問やアウト・リーチのあり方を探る。また、最近増えて来た子どものネット依存の問題にも触れる。 『全教員・相談員必修講座』
	15:10 ～ 17:00	【発達障害と生徒指導】 －発達障害を持つ子どもの生徒指導を考える－ 山形県立山形聾学校 校長 花輪 敏男	教育実践家であり、研究者でもある講師はアイデアマンでもある。学校教育の現場ですぐに活かせる講義は大変好評である。日々考え、歩む姿は教師として生きるモデルでもある。 『大好評の講座、全教員必修』

埼玉会場は少人数制のワークショップ形式です。申し込み時に講座を選んでいただきます。

オリエンテーションが1コマ、A講座・B講座・C講座に分かれて各講師が90分×5コマの講座を受け持ちます。

期間中の講座の変更はできません。各講座とも定員30名の少人数でより専門的に学ぶワークショップです。

A 講座	<p>【自閉症・広汎性発達障害・高機能・自閉傾向・多動の発達支援の方法、学習障害・多動についての治療指導】 -各種の発達障害について、その心情の理解と一般的治療指導の方法を講義し、参加者の持参事例について研究協議する- 小児医学、脳生理学、臨床研究の協力研究者 代表 さいたま市教育相談センター所長 金子 保 同主任相談員 野口 嵩・相談員 阿部 由紀子</p>	<p>約600の来談事例について、行動療法、感覚統合法や偶然事例の研究から全人格発達方式による治療指導の方法を研究、早時期の効果的な方法がわかる。この方法と脳生理学の研究から予防の方法などを研究したい。一般理論と参加者の持参の事例の個々について、方法などを詳しく研究協議し、あすからの実践に役立てるようにしたい。 『乳幼児の育児相談者、幼児教育者、小学校教員・コーディネーター、障害児の父母』</p>	
B 講座	<p>【様々な子どもの問題行動について具体的に考えて行く】 -不登校・非行・いじめなどの問題から発達障害を持つ子への園や学校での具体的な対応方法について広範囲に学びながら、自分の持っている事例を解決するヒントを得る- 埼玉県長瀬町立長瀬中学校 校長 高田 忠一</p>	<p>実際に学校で実践して来た豊富な事例から学ぶ。解決策は抽象的ではなく、具体的である。アイデアマン校長の様々な発想から学び取ることは非常に多い。 『相談員、担任教師、生徒指導担当』</p>	
C 講座	<p>【不登校・ひきこもりからの学校適応への道筋】 -それぞれの状態像に応じた対応の在り方について考える- NPO 法人教育研究所理事長 牟田 武生</p>	<p>不登校から起る二次症状の対応方法やタイプ別の登校刺激の仕方など学校現場で抱える悩みを一緒になって考え、保護者と本人に対するアドバイスを具体的に行います。キーワードは「不登校を長引かせない」。 『適応指導教室、相談員必修講座』</p>	
日程	午 前	午 後 1	午 後 2
7月30日(木)	10:30~ 12:00 オリエンテーション &講座紹介	13:30~ 15:00 各講師による ワークショップ①	15:20~ 16:50 各講師による ワークショップ②
7月31日(金)	10:30~ 12:00 各講師による ワークショップ③	13:30~ 15:00 各講師による ワークショップ④	15:20~ 16:50 まとめと質疑⑤ その後、解散

問題行動研修会申込書 (必要事項を記入し、チェックして下さい)

☆申し込み日 平成21年 月 日	※受講番号 (記入しないで下さい)	
参加者氏名 (ふりがな)	領収書宛名	
勤務先名	勤務先 所在都道府県名 (都・道・府・県)	
受講証送り先を <input checked="" type="checkbox"/> (チェック) して下さい。 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先		
連絡先 Tel ()	Fax ()	
E-Mail @		
☆希望の会場を <input checked="" type="checkbox"/> (チェック) して下さい。 <input type="checkbox"/> 東京会場 <input type="checkbox"/> 埼玉会場		
☆東京会場を受講の方は、受講希望日を <input checked="" type="checkbox"/> して下さい。 東京会場 <input type="checkbox"/> 8/24 <input type="checkbox"/> 8/25 <input type="checkbox"/> 8/26 <input type="checkbox"/> 8/27 <input type="checkbox"/> 8/28		
☆埼玉会場を受講の方は、希望講座及び宿泊希望の有無を <input checked="" type="checkbox"/> して下さい。 希望講座 <input type="checkbox"/> A講座 (担当 金子 保) <input type="checkbox"/> B講座 (担当 高田 忠一) <input type="checkbox"/> C講座 (担当 牟田 武生) 宿泊 <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない		
☆申込書送付方法を <input checked="" type="checkbox"/> して下さい。 <input type="checkbox"/> 郵送 <input type="checkbox"/> Fax	☆支払方法を <input checked="" type="checkbox"/> して下さい <input type="checkbox"/> 銀行振込 <input type="checkbox"/> 郵便振替	☆振込金額をお書き下さい 円

※ この研修会への参加を契機に、ぜひそれぞれの地域で連携、交流を深め、お互いの取組の質を高める目的で参加者名簿を配布します。名簿は名前と勤務先名のみが表示ですが、名簿の掲載を望まれない方は次のをチェックして下さい。
(名簿の掲載を望まない)

【申込書 郵送先及びFax送付先】

〒233-0013 横浜市港南区丸山台2-26-20 NPO 法人教育研究所
Tel. 045-848-3761(代) Fax. 045-848-3742